

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	2	地域から提案、参加してもらっただけじゃなく、グループホームからも地域に何か貢献できる事を見つけたい	地域に根付くグループホームらしい貢献をする	まずは認知症の相談所を時間を決めてグループホーム内で試みて、認知症をいろんな方に知ってもらおう活動をする	2ヶ月～1年	
2	11	職員の定着に向けての取り組みをしているところですが、さらに目標を持って長期に働ける仕組みにしたい	定着率を上げる。 長期で働けるシステム作り	職員の聞き取りなどからニーズを取り入れたシステム⇒キャリアパスへの導入をしたい またスタッフとの食事会なども企画し話しやすい場、お互いをフォローできる仕事仲間を作ってもらいたい	6ヶ月～1年	
3	23	利用者、家族の思いや意向をふまえてもう一歩踏み込んだケアプランを作成したい	ケアプラン⇒評価⇒考察⇒ケアプランの流れをもっと明確にする	利用者1人1人に担当者を決めもっと深く情報を取り、ケアプラン作成に繋いでいきたい	6ヶ月～1年	
4						
5						
6						
7						

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備		①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		認知できる人へのみ	②利用者へサービス評価について説明した
		○	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		○	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他()
2	自己評価の実施	○	①自己評価を職員全員が実施した
		○	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		○	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
			④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	○	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		○	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		○	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	11月中旬	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		12月初旬	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		○	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		11月中旬	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			⑤その他()
5	サービス評価の活用	中核スタッフ	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		12月初旬	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		○	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		11月中旬	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
			⑤その他()